

表2 青島における日系資本の落花生製油工場

工場名	東和油房	第二東和油房	三菱油房	三井油房	鈴木油房	東洋製油	吉澤油房	湯浅洋行油房
所在地	奉天路（現在、遼寧路）	華陽路	吉林路	奉天路（現在、遼寧路）		奉天路（現在、遼寧路）		
資本	100万圓			必要に応じ、本社より出資	10万圓	80万圓	10万圓	20万圓
経営形態	個人	個人		株式				
経営者	三宅駿二 三宅麒七			三井物産支店	鈴木商店	東洋製油会社	吉澤干城	湯浅商事会社
開工年月	1917年11月			1918年		1919年7月		
事業類別	搾油、精製油 落花生粕		落花生油及 び牛油	落花生油及 豆油再製	精製油	搾油、精製油		精製油
敷地面積					5000坪	1200坪		
工場設備	日本中島工場産16台	気罐2基、 モーター7 台、搾油機16 台、水圧ポン プ2台、原材 料粉碎機2 台、粕粉碎機 6台、圧濾機 2台、油槽17 機、加熱窯8 台	移入槽1基、 加熱像1基、 貯蔵槽150ト ン1基と500 トン1基、濾 過槽1基、濾 過機1機、搾 油機、エキス ペラー4台		事務所、宿舎、 機関室、タン ク室、倉庫	搾油工場(260 坪)、倉庫3 棟(500坪)、 事務所、宿舎、 試験室、精油 室		

		搾油機、板縮水圧8台、英国式ケーダプレス(16寸)8台、ボイラー、コルニツレユ、ランカシャ2基					
1年生産額	精油262万5千斤(1918年)			30万箱(1918年、1920年)	40万箱(1920年)		16万箱(1918年、1920年)
使用人員	120人(1918年)、日本人7人、中国人150人(1928年)	職工130人 職員6人(1941年)		102人(1918年)	130人(1919年)		15人(1918年)

工場名	新利洋行油房	泰利油房	長瀬油房	峯村油房	信昌洋行
資本	5万圓	銀6万圓	300万圓	銀50万圓(1918年) 100万圓(1928年)	銀7万圓
経営者	新利洋行	松崎 翠	長瀬洋行	峯村正三	津下信義
所在地				華陽路	
開工年月			1919年9月	1922年2月	
事業種別	精製油			落花生油と粕	
敷地面積				4200坪	

1年生産額	50万箱（1920年）	7万4千箱（1920年）	50万箱（1920年）	40万箱（1920年） 4千トン、粕6千トン（1928年）	精油20万斤（1918年）
使用人員	60人	35人（1919年）	15人（1919年）	50人（1919年） 日本人4人 中国人60人（1941年）	20人（1918年）

出典：趙琪修『膠澳志』、興亞院華北連絡部青島出張所『青島市における油脂工業立地調査報告』、『青島ノ商工業』、『青島ノ工業』、『青島実業協会月報』第30、32号より筆者作成